



(別紙)

(注)

1 「1 集団処遇の実施状況」について

(1) 次の区分に基づき、該当する値を記入すること。

- |             |  |
|-------------|--|
| 区分: ① 個別SST |  |
| ② 集団SST     |  |
| ③ 酒害・薬害教育   | 例) 酒害教育, 薬害教育, 薬物依存回復プログラム, 回復者による講話                     |
| ④ 就労支援      | 例) 就労に関する講座やセミナー, 求職座談会・相談会                              |
| ⑤ 社会奉仕活動    | 例) 地域清掃活動, 地域活動へのボランティア参加                                |
| ⑥ 教養訓練      | 例) 教養講座, 各種教室(料理, パソコン, 絵手紙等), 交通安全, 法律相談, 防災・救命訓練, 自己啓発 |
| ⑦ 各種集会      | 例) ミーティング, 法話, 被害者供養, 元被保護者の卓話                           |
| ⑧ レクリエーション  | 例) 季節行事, コンサート, 誕生日会, 旅行, 地域との交流会, スポーツ, 観劇              |

(2) 「実施協力者」の欄は、集団処遇の実施に当たって協力を得た者について、○を選択すること。いずれにも該当しない場合は「その他」について○を選択し、その身分や職業等を記入すること。

2 「2 その他の特徴的な処遇の実施状況」について

(1) 本欄には、集団による心理学等の専門的な知見に基づくアプローチ(上記1(1)の区分に該当するものを除く。)を記載すること。(例)コラーージュ療法, 箱庭療法等

(2) 行数が足りないときは適宜、行を増やして作成すること。